

ハクサンイチゲ

キンポウゲ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

Anemone narcissiflora L.ssp.*nipponica* (Tamura) Kadota

国カテゴリー 該当なし

選定理由

生育地が限られており、分布の南限である。個体数が減少傾向にある。(現況:RO)

形態

根出葉は3出複葉で、小葉はさらに細かく裂ける。根出葉のわきから花茎を伸ばす。花は白色で、立ち上がった花茎の先に数個ずつ着く。萼片は5個あり、花弁はない。茎葉は4枚で輪生し、葉柄がない。花茎や葉には白い毛を密生する。

国内分布

本州中部の高山草原に生える。

県内分布

白山高地区の亜高山帯・高山帯に分布する。

生態など

高さ20~30cmのやや小形の多年草である。開花期は7~8月。ミヤマキンポウゲ、ハクサンフウロ、ミヤマキンバイ、クロユリなどと群落をつくっている。

生育環境

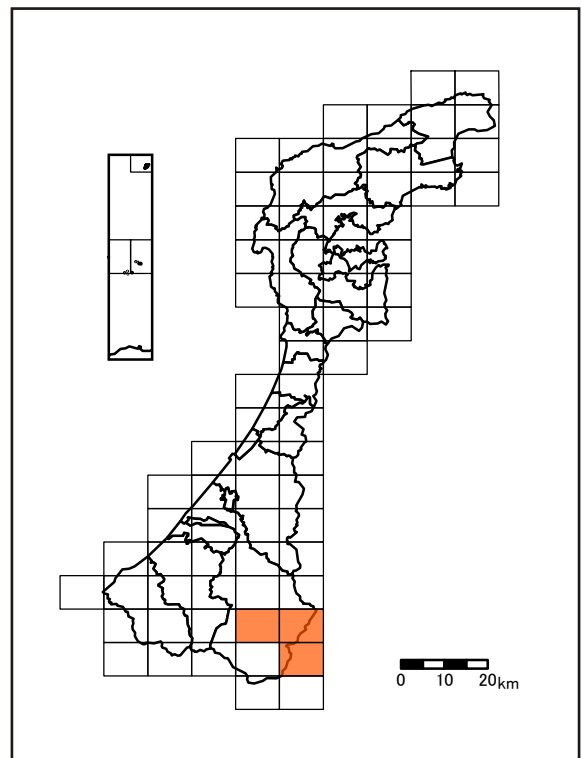
標高2000~2600mの岩隙、風衝地、ハイマツ低木林、高茎広葉草原などと乾燥から湿潤地までと生育域が広い。

危険要因

道路工事、踏みつけ、自然遷移、産地局限。



白井伸和・2007年6月27日・白山



県内の分布